

鹿児島 NEWS WEB

奄美に野良猫不妊手術の施設開所

08月15日 16時22分



奄美市に野良猫の不妊手術を無料で行う専用の施設がオープンしました。

この施設の利用が進むことで、アマミノクロウサギなどの希少動物の保護につながることを期待されています。

施設は、公益財団法人「どうぶつ基金」が奄美市名瀬港町にあるビルの1階に設けたもので、「あまみのさくらねこ病院」という名称が付けられています。

「どうぶつ基金」は、全国で動物の不妊手術を通して、殺処分を減らす活動を行っている団体です。

15日は基金の佐上邦久理事長が施設で会見し「奄美のネコや希少種を救いたいという思いから今回開院しました」と述べました。

奄美大島と徳之島では国の特別天然記念物に指定されているアマミノクロウサギなどの希少な生き物が、野生化した猫に襲われるケースが相次ぎ、対策が課題となっています。

この施設では、野良猫の不妊手術を行うことで、殺処分される猫や野生化した猫を減らすことを目的としています。

施設には獣医師1人が常駐するほか、複数の獣医師が交代で勤務して、不妊手術やワクチンの接種などを行うことになっています。

15日はさっそく10匹以上の野良猫の手術が行われました。

野良猫を持ち込んだ女性は「殺処分を減らす手立てになってほしいと思います。友人にも勧めたいです」と話していました。

この施設は不定休で、利用には電話予約が必要だということです。

猫の持ち込みは、午前9時から午前11時までとなっています。